



みえ県議会

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議 「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059(224)2877
FAX 059(229)1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp
URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/
URL https://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)
URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook)

議会
ホームページ

QRコード

スマホ版
議会だより

QRコード

議会
Facebook

QRコード

新議員が選出されました

令和7年9月7日に執行された三重県議会議員補欠選挙により、次の4名の当選が決定しました。選挙区、氏名、所属会派、所属委員会は次のとおりです。

桑名市・桑名郡選挙区

桑名市・桑名郡選挙区

鈴鹿市選挙区

伊賀市選挙区



いちの しゅうへい
市野 修平
新政みえ
防災県土整備企業
常任委員会



なんば せいこ
難波 聖子
参政党
政策企画雇用経済観光
常任委員会



そが まさひこ
曾我 正彦
新政みえ
政策企画雇用経済観光
常任委員会



いちかわ がくと
市川 岳人
自由民主党
医療保健子ども福祉病院
常任委員会

会派別議員数

9月9日付で会派結成届および会派異動届の提出があり、会派別の議員数は次のとおりとなりました。

会派	議員数
新政みえ	20人
自由民主党	16人
自民党県議団	5人
草莽(そうもう)	3人
公明党	2人
日本共産党	1人
参政党	1人

三重県議会定例会

今後の日程（予定）

令和7年12月から令和8年2月までの日程（予定）は次のとおりです。

12月

- 1日 本会議（一般質問）
3日 本会議（一般質問）
5日 本会議（一般質問）
8日 予算決算常任委員会
9日 予算決算常任委員会
10日～12日、15日 各行政部門別常任委員会・
分科会
18日 予算決算常任委員会
19日 代表者会議
議会運営委員会
22日 本会議（採決・閉会）

1月

- 19日 本会議（開会）
2月
3日 代表者会議
10日 議会運営委員会
12日 全員協議会（当初予算）
17日 本会議（議案上程）
25日 本会議
(代表質問 ・議案質疑)
27日 本会議（一般質問）

この日程は、令和7年11月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。



TV テレビ中継 インターネット中継



人に優しい道路空間の有効活用 「津駅周辺の再整備」について

あおき けんじゅん
青木 謙順 議員 自由民主党／津市選出



問

津駅周辺の再整備については、令和2年から検討が進められており、令和7年8月には津市から「津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）」が公表され、広く県民の期待が高まっています。ビジョンの実現やバスタープロジェクト成功①に向け、県は国および津市とどのように関わるのか伺います。

答

現在、国はバスタープロジェクトの必要性を調査しており、津市は東西自由通路の整備検討等を、県は津駅東口の県道津停車場線での魅力ある道路空間創出の検討を進めています。津駅周辺の再編は、津市が主体となって都市計画の検討を進めており、県は国と津市の架け橋となり連携を促進し、令和4年に国・県・市で策定した整備方針に掲げた「みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し災害にも強い空間」の創出に尽力します。

その他の質問事項

- これからの4年間にかける思い
○ JR名松線全線開通90周年に向けて



主権者である県民本位の行政サービスが 提供される三重について



いながき あきよし
稻垣 昭義 議員 新政みえ／四日市市選出

問

知事が掲げる政策を進めるには、県職員の士気が非常に重要です。しかし、主查級以下の年間退職者数は、この10年間で約2倍に増えています。退職者への聞き取りから本質的な問題を捉え、県庁の在り方を見直し、組織改革を行う必要があると考えます。知事の考えをお聞かせください。

答

若手職員の退職理由として、やりがいを感じられないことや業務量の多さ等があります。それらに対応するため、「『明日の県庁』創造チーム」を設置し、退職者への聞き取り等を行い、今後の県庁の在り方を議論しています。今年度中に方向性をまとめ、今後の人材育成に生かしていきます。また、人材育成には褒めることも大事です。令和6年度に独自の表彰制度「MieVP表彰」を導入しており、これによる職員の士気向上を期待しています。

その他の質問事項

- 二期目4年間の県政展開について
○ 式年遷宮を見据えた未来の三重の姿について ほか



大規模な太陽光発電パネルの 設置について



つだ けんじ
津田 健児 議員 自民党県議団／四日市市選出

問

三重県環境影響評価条例では、10ヘクタール以上の太陽光発電施設設置に係る造成事業には環境アセスメントが必要ですが、この基準に満たない小規模施設を次々と設置する事業者もいます。環境アセスメントの面積基準は林地開発許可に合わせるべきと考えますが、知事の考えを伺います。

答

太陽光発電における県の環境アセスメントの対象は、10ヘクタールという全国でも小規模に設定していますが、森林の保全を進めるため、対象の拡大を考えています。例えば、森林区域については対象を1ヘクタールにするなど、環境アセスメントをよりきめ細かく行えるよう、今後、三重県環境審議会への諮問等を行なながら、検討を進めます。

その他の質問事項

- 政策集から「自己肯定感を高めるための取り組み」について
○ 新たな交通安全対策について（ライトアップ表示板・歩行者横断指導線） ほか

一般質問



県道鳥羽磯部線の道路拡幅について

の むら やす お
野村 保夫 議員 自民党県議団／伊勢市・鳥羽市選出



問

県道鳥羽磯部線は、鳥羽市南部の住民の多くが利用する道路ですが、幅が狭く、カーブが連続しています。渋滞緩和や安全走行のため、拡幅する必要がありますが、沿道住宅等を考慮すると、新たなバイパス整備が必要と考えます。県の考えをお聞かせください。

答

現在、鳥羽市松尾町地内で現道拡幅を実施している区間は、令和10年度の完成を目指しています。隣接する国道167号までの未改良区間については、沿道住宅への影響等からバイパスによる整備が有効と考えています。しかし、道路整備予算には限りがあるため、まず現道拡幅区間の工事を着実に進めるとともに、令和7年6月に閣議決定された第1次国土強靭化実施中期計画を踏まえ、予算の確保に努めます。

その他の質問事項

- 伊勢湾口道路、東海南海連絡道の必要性について
- 練習船鳥羽丸との連携についてほか



公共水域の適正管理のために

なか じま としき
中嶋 年規 議員 自由民主党／志摩市選出



問

令和5年2月の一般質問で、公共水域における放置船の解消や対策を強化する条例制定を提言した際、県当局からは、条例の必要性についてさまざまな面から検討すると答弁がありました。放置された廃船による航行障害等の諸課題を解消するための、条例制定に向けた検討状況をお伺いします。

答

浜島港周辺海域の放置船については、港湾区域は令和8年度に行政代執行等で撤去予定ですが、一般海域は拠り所となる法令がなく、撤去ができない状況です。このため、一般海域の放置船対策を推進するための条例制定に向け、有識者で構成する検討会を設置して議論を進めており、令和7年12月の常任委員会で条例の概要を提示する予定です。この条例制定により、一般海域を含めた海域の放置船の解消に、しっかりと努めていきます。

その他の質問事項

- 三重県誕生150周年記念事業
- こども・若者の自殺防止対策の強化をほか



路面下空洞調査の実施について

いま い とも ひろ
今井 智広 議員 公明党／津市選出



問

道路陥没は全国で年間約10,000件発生しており、その内、都道府県管理道路は約1,000件です。陥没を未然に防ぐためには、見えない道路の下の状況を調査する必要があります。県管理道路について、特に重要な幹線道路では路面下空洞調査を実施すべきと考えますがいかがですか。

答

県では、これまで日常のパトロール等を通じて、道路の損傷の把握に努めており、路面下空洞調査は実施していません。しかし、埼玉県八潮市の大規模な陥没事故を受け、調査の必要性が高まっていると認識しています。県管理道路の総延長は約3,400kmあり、予算の制約から全ての県管理道路を調査することは困難ですが、交通量、埋設管の有無、緊急輸送道路であるか等の観点から優先区間を選定した上で、試行的に調査を実施していきます。

その他の質問事項

- 県営住宅における空き住居修繕のスピードアップを！



地域におけるバス路線の維持・確保について

くら もと たか ひろ
倉本 崇弘 議員 草莽／桑名市・桑名郡選出



問

公共交通は地域社会の基盤です。中でも、日常生活を支えるバス路線の維持・確保のためには、主要地域を結ぶ幹線については県が、主要地域と各地域を結ぶ支線は市町が主体となり、県と市町が役割分担しながら連携して取り組むことが重要です。県の公共交通に対する考え方をお伺いします。

答

路線バスが地域の公共交通ネットワークを担い続けるためには、幹線と支線の機能に応じて県と市町が役割分担し、利便性向上や運行効率化を進めることが重要です。県は、幹線の43路線の運行経費補助により路線維持を図っている他、市町が支線で路線バスからデマンド交通へ転換等する際には、国とともに伴走支援や財政支援を行っています。引き続き地域一体で取り組みを進め、今後は市町の専門人材育成等への支援も強化します。

その他の質問事項

- 物価高騰対策等について
- 県立中高一貫校についてほか



老朽化した海岸堤防の整備・改修の加速

むら ぱやし さとし
村林 聰 議員 自由民主党／度会郡選出



問

県内の海岸堤防の多くは伊勢湾台風を機に作られ、老朽化しています。県は重点区域を定めて整備を進めていますが、年間進捗は数百メートルとわずかです。このまま南海トラフ巨大地震が発生すれば、行政の不作為を問われかねず、市町を含め県全体の予算確保が必要と考えますがいかがですか。

答

海岸堤防の整備には、地震、高潮・浸食、津波対策を合わせて約4,000億円と多大な費用が必要です。予算確保に向け、あらゆる機会を通じて責任を持って国に働きかけるとともに、令和7年6月に閣議決定された第1次国土強靭化実施中期計画の予算も活用し、海岸事業を推進します。また、各海岸管理者で構成する三重県海岸堤防連絡調整会議を活用し、管理者間の連携をより強化します。

その他の質問事項

- 被災後も住み続けるには速やかな復旧が必要
- 県立高校存在意義の自己否定ほか



拠点滞在型観光の取り組みについて

なか せ のぶ ゆき
中瀬 信之 議員 新政みえ／度会郡選出



問

県南部地域は文化・歴史・豊かな自然に恵まれ、神宮や熊野古道など、世界に誇れる魅力のある地域です。県の中期戦略計画「みえ元気プラン」で観光政策の柱に掲げている「拠点滞在型観光」の取り組み、観光客の満足度を上げるために「観光インフラ」の中で今後重要と考える整備を伺います。

答

旅行者に地域の魅力に触れてもらうためには、宿泊日数を増やすことが重要だと考えています。このため、市町やDMO(観光地域づくり法人)等による地域ならではの観光資源を生かした旅行商品造成の支援などにより滞在価値の創出を図るとともに、上質な宿泊施設の誘致や客室の和洋室化等の観光インフラ整備を支援するほか、観光情報も発信しています。今後も旅行者に長く県内に滞在していただけるよう取り組みます。

その他の質問事項

- 高齢者政策について
- 津波避難タワーの利活用についてほか

一般質問



酒造好適米の安定供給について

なか もり ひろ ふみ
中森 博文 議員 自由民主党／名張市選出



問

県では県内各地の米を使った特色ある酒が造られ、国内外で高い評価を得ています。しかし、酒造好適米は主食用米と比べて単位収量が低く、生産も難しい米です。主食用米の価格が上昇する中、県内の酒造業の継続に向けた酒造好適米の安定供給について、県の所見を伺います。

答

県では、国が令和8年度予算で要求している酒造好適米の生産者への支援の活用とともに、技術指導等による収穫量と品質の向上を図り、作付けの継続につなげます。また、三重県酒造組合とともに、単位収量が多い普及価格帯向けと、高級酒向けの2つの新品種の育成を進めており、それぞれ令和11年度と13年度での品種登録出願を目指しています。今後も関係機関と連携し、酒造好適米の安定供給体制の構築に向けた取り組みを進めます。

その他の質問事項

- ガソリン減税について
- 「空き家」対策について ほか



アートをテーマにした三重の新たなプロモーション～豊かな自然を舞台に芸術祭の開催を～

い とう まさ よし
伊藤 雅慶 議員 新政みえ／三重郡選出



問

県には風光明媚な里海、離島、里山、里まちがあり、ふるさと三重の魅力をアートの力を借りて発信すれば、交流・関係人口が増加し、地域の課題解消・活性化等につながると考えます。今ある地域資源も新たな作品も表現次第アートとなり、幅広い市民活動を包括できます。県の所見を伺います。

答

歴史文化、自然、食など特色ある地域資源等をアートとして評価し地域活性化に生かすことは、地域資源を活用したプロモーション手法の一つです。亀山市等が取り組む、アートをテーマとした地域のプロモーション事例も参考に、県のプロモーションの在り方を検討します。芸術や美術は、教養を刺激し、観光客を多くひきつけ、子どもの教育にも良い影響があると思いますので、そういう機会についても考えていただきたいと思います。

その他の質問事項

その他の質問事項

- 獣害対策の強化と森林環境の再構築について
- 消防団員の確保と避難体制の強化について ほか



清流日本一宮川を目指す流域市町長からの宮川ダム毎秒2トン放流要望への対応

にし ば のぶ ゆき
西場 信行 議員 自由民主党／多気郡選出



問

令和5年に、宮川ルネッサンス協議会を構成する7市町長と鳥羽市長が、宮川の流量回復のため、宮川ダムからの毎秒2トン放流の要望を県に行いましたが、的確な回答がありません。宮川の流量回復と水質問題における県の責任と、要望に対して今後どのように対処していくのか、お伺いします。

答

宮川の流量回復は県としてしっかりと取り組んでいくべき課題と認識しています。「宮川のより良い流況に向けた流量回復等検討会議」を設置し、将来的ダム直下毎秒2トンに近づけるよう検討を進めており、令和7年3月に利水者と全ての関係市町との意見交換会を初めて開催する等、新たな議論が動き出しています。今後も水質等の調査結果を蓄積し、宮川流域宣言に記載された地域の思いを踏まえ、丁寧に意見交換を続けます。

その他の質問事項

- 誰一人として取り残さない地域共生社会の実現
- 小規模事業者支援対策



治山事業の取り組みについて

ひ おき まさ のぶ
日沖 正信 議員 新政みえ／いなべ市・員弁郡選出



問

治山事業には、森林の維持・造成を通じて山地災害から県民の生命や財産を守る重要な役割があり、近年の豪雨等の異常気象に対応するため、新たな整備に加え、老朽化対策など計画的な整備が必要です。山地災害の発生リスクが高まる中、治山事業をどのように進めていくのか伺います。

答

県では、市町の要望を踏まえ、優先度や緊急性を考慮して計画的に治山事業を進めており、県内の山地災害危険地区での整備着手率は、令和6年度末時点^④で54.3%です。年々増加する事業要望や物価高騰等による事業費の増加に対応するため、国の事業等を活用し、予算確保に努めるとともに、コスト縮減に繋がる新工法や新技術の導入に取り組むほか、みえ森と緑の県民税等も活用し、山地災害を防止するための総合的な治山事業を進めます。

その他の質問事項

その他の質問事項

- 観光振興対策について
- 消費生活相談について ほか



災害福祉支援センターの設置について

た なか ども なり
田中 智也 議員 新政みえ／四日市市選出



問

大規模災害発生時に被災者へ福祉サービスを提供するには、被災地外からの支援の調整が非常に重要です。南海トラフ地震に備えて、被災者支援を円滑にするための民間主導の災害福祉の専門機関として調整を担う災害福祉支援センターの設置が必要だと考えますが、いかがですか。

答

災害福祉支援センターは、12の県社会福祉協議会で設置されており、県ごとにその機能や役割はさまざまですが、幅広い活動に対応できる専門性の高い人材の確保等が課題です。県内の関係団体が参画する「災害時における福祉支援ネットワーク協議会」でこれまで進めてきた取り組みの課題を整理するとともに、他県のセンター運営状況を調査し、関係団体と意見交換をしながら、本県の地域特性に合った福祉支援体制の在り方を検討します。

その他の質問事項

- 四日市コンビナートのカーボンニュートラル化について
- 三重の明日の文化の担い手について ほか



新型コロナとワクチンについて

ひ ろ こう た ろう
廣 耕太郎 議員 新政みえ／伊勢市・鳥羽市選出



問

新型コロナワクチンは、副反応例が多く報告され、効果が薄いという専門家もあり、高リスクと考えます。特にレプリコンワクチン^⑤は多くの国で未承認です。県民の健康と命を考えると、泉大津市のように極めて慎重に判断するよう県がメッセージを出すべきと考えます。県の所見を伺います。

答

新型コロナワクチンは、国において有効性および安全性が確認された上で薬事承認され、定期接種が行われています。また、接種に対する努力義務はなく、個人の判断によるものとされています。ワクチン接種に関し、県民に対して「極めて慎重に」というメッセージを出すことは、県民がネガティブに捉える懸念があり、県が出すべきものではないと考えます。ワクチン接種は、あくまでも個人の判断に委ねることが適切だと考えます。

その他の質問事項

その他の質問事項

- 病院の面会時間について
- 自然災害対策について ほか



審議結果（9月定例月会議）

可決した議案

条例

- 地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案 ほか9件

その他議案

- 工事請負契約の変更について ほか4件

人事案件（同意）

- 土地利用審査会委員の選任につき同意を得るについて

認定した企業会計決算

- 令和6年度三重県水道事業会計決算 ほか3件

採択した請願

- 自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めるについて
- 株式会社三重県松阪食肉公社の早期施設整備に関するについて
- 県独自の日本酒産業振興施策の強化等を求めるについて
- 酒造業の基盤維持のための原料米価格高騰対策に関するについて
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めるについて
- 教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めるについて
- 防災対策の充実を求めるについて
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めるについて
- 子どもたちの豊かな学びを保障するため、教職員の欠員の速やかな解消および教職員配置のさらなる充実を求めるについて

不採択とした請願

- 「消費税減税を求める意見書」の国への送付を求めるについて
- 「インボイス制度の経過措置を存続するよう求める意見書」を国に送付することを求めるについて
- 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書を国に提出することについて
- 県独自の学級編制基準の改善によって、25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めるについて

可決した意見書案

- 酒造用原料米の安定的な確保を求める意見書案
- 自動車関係諸税等の見直しを求める意見書案
- 子どもの貧困対策等を踏まえた就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書案
- 教職員の欠員等を速やかに解消する施策の実行並びに教職員定数改善計画の策定及び実施並びに教育予算の拡充を求める意見書案
- 学校における防災対策の充実を求める意見書案
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書案
- 物価高騰及び賃金上昇に対応するための医療機関等への経営支援及び診療報酬の改定を求める意見書案

議員別の賛否等の状況
(PDFファイル)

9月採決分



故 三谷哲央議員を悼む

9月25日の本会議において、議案上程に先立ち、去る8月9日に逝去された故三谷議員をしのんで、追悼演説が行われました。

故人の議席には、花束が捧げられ、出席議員全員が黙とうし、冥福を祈りました。

故三谷議員は平成7年に初当選以来連続8期当選し、30年余りにわたり県政の推進に貢献されました。

10月10日には三重県議会葬が津市内において、しめやかに行われました。



議会葬

追悼演説

用語解説

① バスタッププロジェクト

鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通モードがつながる集約型の公共交通ターミナルを、官民連携で整備するプロジェクトです。

② 環境アセスメント

開発事業の実施が環境にどのような影響を及ぼすのか、あらかじめ事業者が自ら調査、予測、評価を行い、その結果を公表して住民等、知事、市町長などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全に十分な配慮を行い事業に反映させるための制度です。

③ ライトアップ表示板

信号機の無い横断歩道の標識等に設置され、搭

載したセンサーが歩行者を感じると、電光表示板に「横断あり」等の文字が点灯して、運転者に注意喚起する設備のことです。

④ 路面下空洞調査

専用の探査車両等を用いて、道路下の空洞の有無を把握し、道路陥没の未然防止につなげる調査です。

⑤ 抱点滞在型観光

旅行者が1つの地域に滞在し、周辺地域を周遊して楽しむ観光形態のことです。

⑥ 観光インフラ

観光客が旅行を楽しむために必要な、交通機関・宿泊施設・食事場所・情報提供等の設備やサービス

のことです。

⑦ 山地災害危険地区

林野庁が定める調査要領に基づき、土砂崩れや渓流からの土砂流出等の危険性が高いと考えられる箇所のうち、人家・公共施設など保全対象への影響が大きい地区を選定したものです。

⑧ レプリコンワクチン

メッセンジャーRNAワクチンの一つで、接種されたメッセンジャーRNAが細胞内で一時的に複製され、既存のメッセンジャーRNAワクチンよりも強く免疫が誘導されるワクチンです。